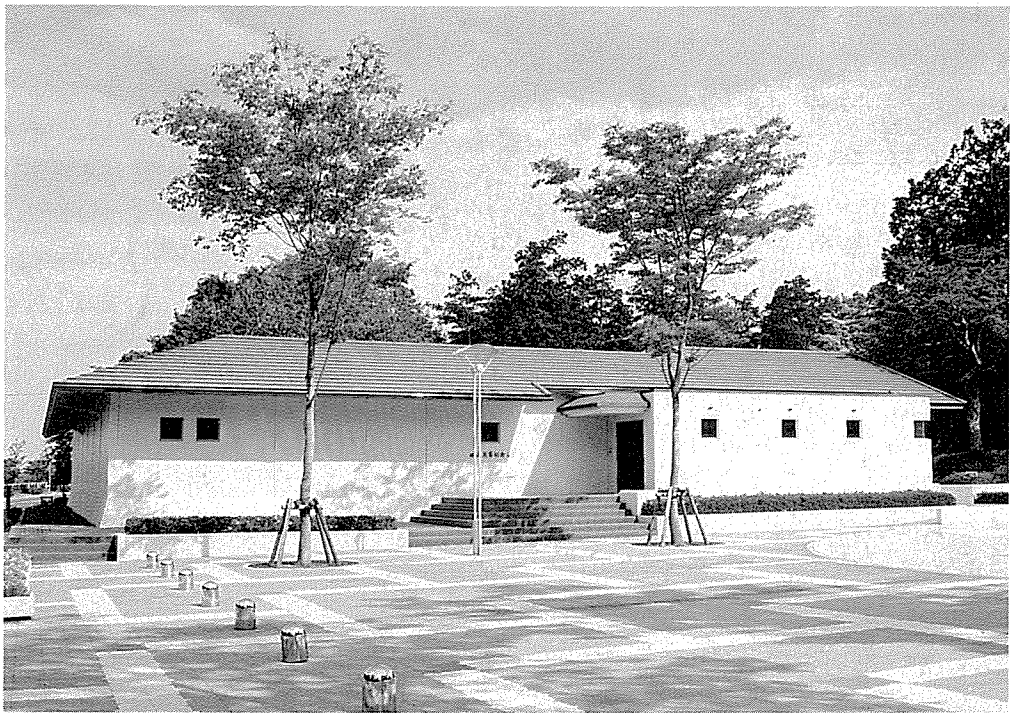


田山花袋記念館

年報3

平成６年度

館林市教育委員会

目　次

- 主要事業一覧……1
- 特別展……2
- 普及……5
- 資料収集……7
- 特別利用……9
- 入館者数……10
- 事業費……11

主要事業一覧

主　要　事　業　一　覧

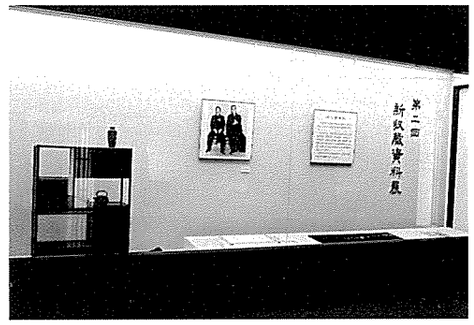
年度	展　示　事　業	そ　の　他　の　事　業
4	○第２回新収蔵資料展 ○特別展「柳田國男と田山花袋 ―不撓の絆―」	○資料収集 ○資料修繕・くん蒸 ○研究紀要第５号、叢書第二巻の刊行 ○開館５周年記念講座
5	○第３回新収蔵資料展 ○特別展「山荘にひとりゐて ―富士見高原の花袋―」	○資料収集 ○資料修繕・くん蒸 ○研究紀要第６号、叢書第三巻の刊行 ○複製資料の作成 ○レーザーディスク購入
6	○企画展「花袋の書 ―和歌と漢詩を中心に―」 ○特別展「徳田秋声と田山花袋 ―自然主義文学の軌跡―」	○資料収集 ○資料修繕・くん蒸 ○研究紀要第７号、叢書第四巻の刊行 ○複製資料の作成 ○市制40周年記念講座

特別展

平成４年度

第２回　新収蔵資料展

平成４年４月18日(土)
～６月28日(日)



〈展示の目的〉

平成３年度に収蔵された資料の中から、田山家資料、岩永コレクションを紹介する。

〈おもな展示資料〉

Ⅰ田山家資料　ぐいのみ、酒器、長着、袴、生誕五十年記念飾り棚、印鑑、花台等遺品
『東京震災記』『コサアク兵』『小さな鳩』『温泉周遊』『弓子』等花袋著書

Ⅱ岩永コレクション　田山花袋書簡（飯田代子宛）　田山花袋書簡（太田玉茗宛）　小栗風葉書簡（太田玉茗宛）　国木田独歩自筆原稿「欺かざるの記」序文　岩野泡鳴離縁状下書き　岩野泡鳴下宿屋間取図　徳田秋声小林政子宛「誓」　和歌集「萩の下葉拾遺」（花袋写本）

〈資料提供者〉　田山とも氏　佐野弥生氏

開館５周年記念特別展　柳田國男と田山花袋 ―不撓の絆―

平成４年10月24日(土)
～11月29日(日)

〈展示の目的〉

民俗学を確立した柳田國男と花袋との交友をたどりながら、民俗学と自然主義文学の接点を紹介する。



〈おもな展示資料〉

Ⅰ柳田國男関係資料　・自筆原稿『遠野物語』
・著書『遠野物語』『後狩詞記』『海上の道』
・肖像画　・卒業証書　・デスマスク　・遺品

Ⅱ花袋・柳田國男交友関係資料　・花袋婚姻届　・紅葉会和歌原稿　・花袋原稿「こもりえ」
・文鎮（花袋が柳田に贈ったもの）　・花袋遺墨（花袋が柳田に贈った漢詩）　・書簡類
・花袋・柳田共著『抒情詩』『近世奇談全集』　・組湯呑茶碗（柳田からの結婚祝い）

Ⅲ柳田家・松岡家関係資料　・安東菊子『思出草』　・松岡映丘画「春秋」　他計150点

〈協力者・協力機関〉　柳田為正氏　松岡文雄氏　岩崎敏夫氏　鎌田久子氏　程原健氏　小林一郎氏　後藤総一郎氏　渥美町郷土資料館　飯田市美術博物館　成城大学民俗学研究所　東京大学法学部附属明治新聞雑誌文庫　(財)柳田國男・松岡家顕彰会記念館　遠野市立博物館　博物館明治村　館林市立図書館

特別展

平成５年度

第3回 新収蔵資料展

平成５年４月10日(土)
～５月30日(日)

〈展示の目的〉

平成３年度に収蔵された４点の油絵を中心に花袋を取り巻く芸術家たちの作品、花袋著書の装丁や挿絵を展示し、花袋と画家との交流を紹介する。



〈おもな展示資料〉

- 彫刻　高村光雲「恵比須・大黒」(ブロンズ)
- 油絵　岡田三郎助『田舎教師』口絵原画
  橋本邦助『妻』口絵原画　中沢弘光『弟』口絵原画　和田英作「海辺の松林」
- 日本画　小林一意「五重塔図」(紙本淡彩)　前田香雪「蛙図」(紙本淡彩　花袋漢詩賛)
- 花袋著書『東京震災記』『草みち』『合歓の花』『流矢』『水郷日田』　他　計60点

〈資料提供者〉

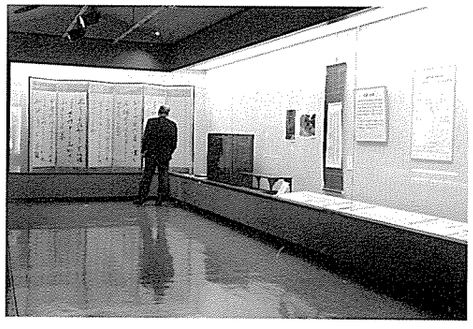
田山とも氏　佐野弥生氏

第10回 特別展 山荘にひとりゐて —富士見高原の花袋—

平成５年10月14日(木)
～11月28日(日)

〈展示の目的〉

花袋の文学の転換期となった大正５年の長野県富士見の山荘での生活や、「文章世界」の誌友であった村の青年たちとの交流を、花袋の小説や紀行文を通して紹介する。



〈おもな展示資料〉

- 花袋、柳田國男和歌幅「雨にあふも～」
- 柳田國男、花袋和歌幅「たび人の～」
- 名取烟浪宛花袋書簡　・画帖（花袋和歌ほか）　・花袋和歌屏風（六曲一隻）
- 絵島遺品　戸棚　文机　座布団　・小川平吉著『射山詩史』　・高遠花袋歌碑拓本
- 花袋日記帳（大正５年）　・花袋著書『山水小記』『海へ山へ』『花袋紀行集』
- 雑誌「太陽」「文章世界」「中央公論」他　・名取烟浪俳句色紙　・花袋宛書簡　他計70点

〈協力者・協力機関〉 太田行康氏　黒河内太郎氏　小林一郎氏　小林数行氏　中村文彦氏　名取一氏　平澤禎二氏　長谷川吉弘氏　高遠町　高遠町教育委員会　高遠町郷土館　富士見町　富士見町教育委員会　館林市立図書館

特別展

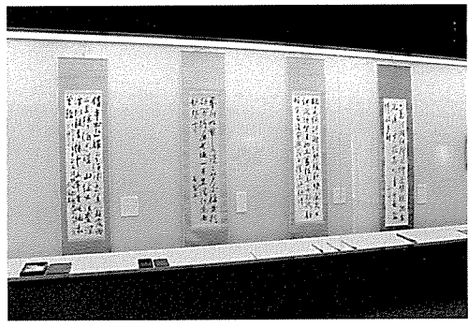
平成６年度

企画展 花袋の書 —和歌と漢詩を中心に—

平成６年４月16日(土)
～６月12日(日)

〈展示の目的〉

記念館に収蔵された花袋の「書」の中から、旅や友人たちとの交流の中から生まれた自作の和歌、漢詩の「書」を紹介する。



〈おもな展示資料〉

- 遺品　硯　筆　墨　印鑑　水滴　硯箱　他
- 和歌短冊「あたらしき～」「この春は～」
  「もりかげの～」「中の海の～」
- 和歌幅「花おほき～」「おほかたは～」「なみの上に～」
- 漢詩色紙「鉢形懐古」「川中島懐古」「芳山懐古」「海城野戦病院」「亡母三十年祭」
- 漢詩幅「一葉泛湖任所之～」「宇多松原」「臨水狭斜街～」「墨川如帯水漫々～」
  「亡父五十年祭」「債車出山駅～」　・漢詩入扇子　・書「随筆」

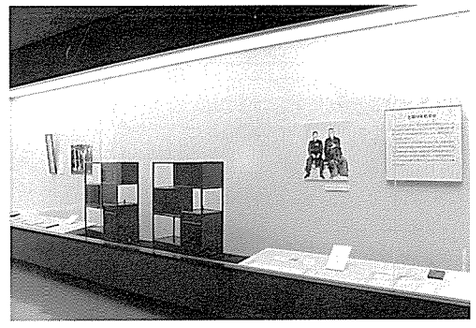
〈協力者〉 田山とも氏　小林一郎氏

第11回 特別展 徳田秋声と田山花袋 —自然主義文学の軌跡—

平成６年10月15日(土)
～11月27日(日)

〈展示の目的〉

花袋と同年に生まれた作家徳田秋声と花袋の交流を通して、二人の目指した自然主義文学について理解を深める。



〈おもな展示資料〉

Ⅰ徳田秋声関係資料　・自筆原稿『縮図』
『古里の雪』『小剣氏に対する親しみ』他
・『あらくれ』挿絵　・小林政子宛「誓」
・著書『縮図』『仮装人物』『あらくれ』『黴』『足迹』『爛』『古里の雪』『少華族』他
Ⅱ花袋・秋声交友関係資料　・花袋宛秋声書簡　・花袋会寄書（花袋、秋声ほか）
・飾り棚（生誕50年記念品）、目録　・花袋著書『椿』（秋声蔵書）『近代の小説』
・花袋秋声共著「文学普及会講話叢書一」『二十八人集』　・雑誌切抜「田山花袋研究」
Ⅲその他　・山田順子和歌短冊　・山田順子著『女弟子』　他　計70点

〈協力者・協力機関〉

徳田章子　新保千代子　(財)石川近代文学館　東京都近代文学博物館　館林市立図書館

普　及

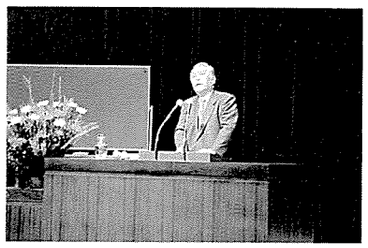
開館５周年記念講座　柳田國男と田山花袋　　平成４年度

開館５周年に当たる平成４年には、記念特別展「柳田國男と田山花袋」の開催、記念館収蔵の花袋宛柳田國男書簡117通をまとめた研究叢書第一巻「田山花袋宛柳田國男書簡集」の刊行に合わせて、花袋と柳田との交流をテーマとした講座を開催しました。講師には花袋、柳田について研究している先生方を迎え、４回講座で行いました。



◆開館５周年記念講座

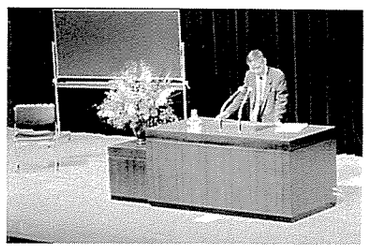
	日　時	会　場	演　題	講　師
1	10月31日（土） 午後１時30分	三の丸 芸術ホール	学びあい、励ましあった二人の友情 ―柳田國男と田山花袋の生きた道―	明治大学教授 後藤　総一郎氏
2	11月８日（日） 午後１時30分	文化会館 ３号室	花袋と柳田國男の知られざる側面 ―花袋宛書簡の世界―	市田山花袋研究顧問 小　林　一　郎氏
3	11月13日（金） 午後７時	三の丸 芸術ホール	『遠野物語』と『蒲団』の接点 ―柳田國男と田山花袋の文学―	文芸評論家 吉　本　隆　明氏
4	11月29日（日） 午後１時30分	文化会館 ３号室	柳田國男の若き日の素顔 ―花袋をめぐる書簡と作品から―	跡見学園女子大学教授 岡　谷　公　二氏



◀後藤総一郎氏

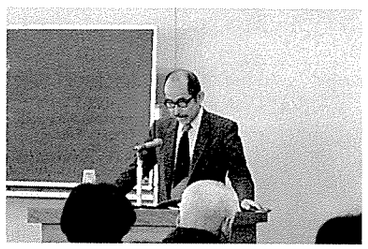
小林一郎氏▶





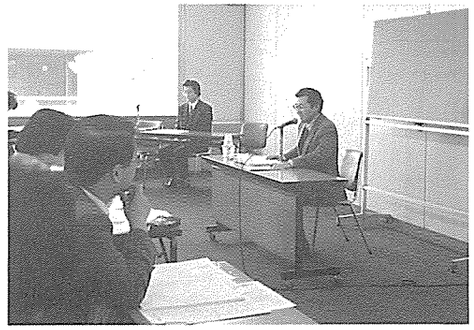
◀吉本隆明氏

岡谷公二氏▶



市制40周年記念講座　　平成６年度

市制40周年を迎えた平成６年には、全国的規模で田山花袋の研究を行っている「花袋研究学会」の定期大会を館林に誘致し、研究学会と共催で「市制40周年記念講座」を開催しました。会場には、地元館林のほか全国各地からも約100名の方々が集まり、熱心に耳を傾けていました。



講演中の渡辺正彦氏

○日時　平成６年11月26日㈯午後１時30分

○会場　館林市文化会館３号室

○内容

●講演　「重右衛門の最後」について

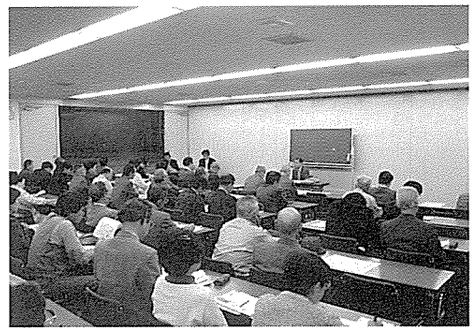
群馬県立女子大学教授　渡辺　正彦氏

●研究発表

・田山花袋と幸田露伴

埼玉県立戸田高校教諭　安達　岳二氏

・「小春日」をめぐって　長谷川吉弘氏



発表を熱心に聞く参加者

田山とも氏が名誉館長に



平成２年８月に亡くなられた花袋の次男・田山瑞穂氏の後をうけ、平成６年４月より、瑞穂氏の夫人・田山とも氏が名誉館長に就任しました。

とも氏は、昭和62年の田山花袋記念館の開館以前からご協力いただいてきましたが、瑞穂氏の逝去に伴い、平成３年には、花袋の著書や遺品のほか、瑞穂氏が父花袋について書いた未発表原稿など、2,500点もの貴重な資料をご寄贈いただきました。これらの資料は記念館活動の核となり、近代文学研究のうえで、広く活用されています。

資料収集

◆収蔵資料点数

	分類・年度		2年度まで	3	4	5	6	合	計
田山家受入資料	書簡類	書簡	2,094	110		2	2	2,208	
		名刺	426	407	1			834	
		その他	15				1	16	3,058
	作品類	書	72	14		3	12	101	
		原稿	127	4				131	
		発表資料	114	22			1	137	
		瑞穂原稿		186				186	
		その他	34	90	1			125	680
	書籍	洋書	213	110				323	
		雑誌	8	96	2	14		120	
		花袋著書	49	470	1			520	
		その他	73	453	1			527	1,490
	記録資料	花袋関係記録	88	30				118	
		田山家関係記録	72	133				205	
		地図	349	7				356	
		その他	16	35				51	730
	遺品	使用品	153	144			1	298	
		その他	1					1	299
	写真	写真	162	116	4		1	283	
		その他	43	14				57	340
	その他			24			1	25	25
	合計		4,109	2,465	10	19	19	6,622	6,622
一般受入資料	書簡		13		2	2			17
	作品類	書(和歌類)	17					17	
		書(漢詩類)	3	1	1			5	
		原稿類	4		1	1		6	
		発表資料			1			1	
		その他	4			2		6	35
	書籍・出版物	雑誌	103	5		6	7	121	
		花袋著書	80	5	7	15	21	128	
		関連作家著書	37	1	4	4		46	
		研究書	30		2	2		34	
		伝記・評伝	16		1			17	
		その他	4					4	350
	記録資料		1		1	2		4	4
	遺品類	田山家遺品	1					1	
		その他		1				1	2
	写品		1					1	1
	コレクション		8	10	3			21	21
	その他		7					7	7
	合計		329	23	23	34	28	437	437
総計			4,438	2,488	33	53	47	7,059	7,059

◆資料購入点数

	4年度		5年度		6年度	
資料名	花袋著書『第二軍従征日記』	1点	花袋著書『妻』	1点	花袋著書『百夜』	1点
	〃 『水郷めぐり』	1	〃 『抒情詩』	1	〃 『温泉周遊』	1
	〃 『山水処々』	1	〃 『ふる郷』	1	〃 『山水百記』	1
	〃 『合歓の花』	1	花袋自筆原稿「涼しいところ」	1	〃 『廃駅』	1
	〃 『2と3』	1	花袋自筆ハガキ	2	〃 『花袋随筆』	1
	〃 『池大雅』	1	津田青楓画『合歓の花』口絵	1	〃 『通盛の妻』	1
	新聞切抜『残雪』	1	橋本邦助画「邦助画集」	1	〃 『水郷めぐり』	1
	花袋自筆原稿「室戸岬」	1	雑誌「新潮」(大正13年11月他)	4	〃 『東京の三十年』	1
	石島薇山著『忍の行田』	1	〃 「少年倶楽部」	1	田山花袋編『二十八人集』	1
	今井邦子著『清少納言』	1	〃 「明治大正文豪研究」	1	和歌集『山桜集』	1
	〃 『女性短歌読本』	1	〃 「国語と国文学」	1	雑誌「日露戦争実記」	4
	「第九明治才媛文集」	1	〃 「島崎藤村研究」	1	〃 「文芸倶楽部」8巻7号	1
			徳田秋声著『光を追うて』	1	〃 「しがらみ草紙」	59
			正宗白鳥著『流浪の人』	1	〃 「新潮」明治41年7月	1
			花袋文学碑除幕式色紙	5		

◆資料寄贈点数

	資料名	点数	寄贈者氏名	寄贈者住所
4	版本『一日の行楽』	1		
	田山花袋書簡（松岡鼎宛）ほか	2		
	花袋漢詩「花袋遺墨」	1		
	花袋自筆漢詩幅ほか	3		
	花袋原稿料記載書	1		
	『花袋とふるさと』ほか	3		
5	定本「花袋全集」第1巻～12巻	12		
	版本『射山詩史』	1		
6	定本「花袋全集」第13巻～23巻	11		

特別利用

◆館外利用件数

4年度	柳田國男書簡（花袋宛） 12	著書『田舎教師』 1	遺品　火鉢 1
	太田玉茗書簡（花袋宛） 1	〃　『東京震災記』 1	〃　扇子 1
	国木田独歩書簡（花袋宛） 1	〃　『妻』 1	〃　酒器 1
	三上於兎吉書簡（花袋宛） 1	〃　『抒情詩』 1	〃　トランク 1
	森鷗外書簡（花袋宛） 1	書（漢詩幅） 1	〃　薩摩焼茶碗 1
	原稿「Mの葬式」 1	〃（和歌幅） 1	〃　座卓 1
	〃「新緑の季節に」 2	〃（漢詩色紙） 1	〃　電気スタンド 1
	紅葉会原稿 1	「田舎教師」口絵原画 1	〃　硯 1
	著書『花袋紀行集』 2	国木田独歩自筆原稿	〃　筆 2
	〃『温泉めぐり』 1	「欺かざるの記」序文 1	〃　墨 1
	〃『花袋歌集』 1	森鷗外著『審美新説』 1	写真　太田玉茗 1
5年度	柳田國男書簡（花袋宛） 4	柳田國男書簡（松岡操宛） 1	
	国木田独歩書簡（花袋宛） 2	「田舎教師」口絵原画 1	
6年度	花袋書簡（田山りさ宛） 4	『江戸名所図会』 3	遺品　とんび 1
	柳田國男書簡（花袋宛） 2	出版契約書 1	〃　下駄 1
	花袋書簡（前田ひさの宛） 1	地図 4	〃　杖 1
	行蔵・哲三書簡（花袋宛） 1	写真帳（出版物） 2	〃　原稿用紙版木 1
	著書『東京近郊一日の行楽』 1	風景写真 2	〃　カバン 1
	〃『温泉めぐり』 1	原稿「伊良湖半島」 1	〃　脚半 1
	〃『東京の三十年』 2	日記帳（大正５年） 1	〃　表札 1
	〃『花袋紀行集』 3	遺品　懐中時計 1	〃　筆 2
	〃『東海道線名所図会』 1	〃　眼鏡 1	

◆館内利用件数

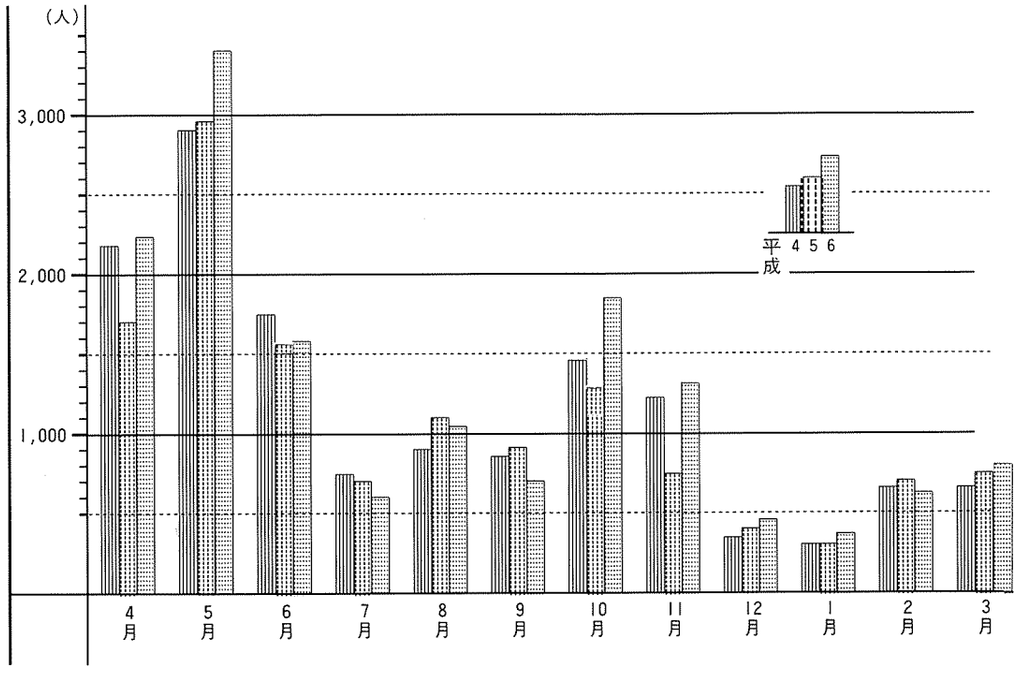
4年度	近松秋江書簡（花袋宛） 28	佐藤紅緑書簡（花袋宛） 2	新聞切抜「男の胸へ」 1
	松浦辰男書簡（〃） 18	太田玉茗書簡（〃） 2	〃　「Kとある田舎町」 1
	高瀬文淵書簡（〃） 16	岡本かの子書簡（〃） 2	〃　「ある夜のこと」 1
	白石実三書簡（〃） 7	西条八十書簡（〃） 2	洋書 1
	西村渚山書簡（〃） 5	島崎藤村書簡（〃） 1	日記 5
	坪谷水哉書簡（〃） 4	泉鏡花書簡（〃） 1	田山家記録 2
	山崎直方書簡（〃） 4	蒲原有明書簡（〃） 1	著書『ふるさと』 1
	中村武羅夫書簡（〃） 4	大町桂月書簡（〃） 1	〃『花袋紀行集』 3
	前田晁書簡（〃） 4	花袋書簡（田山りさ宛） 5	雑誌「穎才新誌」 1
	吉江孤雁書簡（〃） 4	原稿　和歌集 12	〃「新小説」 1
	柳田國男書簡（〃） 4	〃「東北地方紀行文」 2	
5年度	太田玉茗書簡（花袋宛） 6	松浦辰男書簡（〃） 1	著書『田舎教師』 1
	白石実三書簡（〃） 5	小林草村書簡（〃） 1	新聞切抜「Kとある田舎町」 1
	水野仙子書簡（〃） 5	花袋書簡（田山実弥登宛） 24	書（和歌短冊） 1
	前田晁書簡（〃） 4	〃（田山りさ宛） 2	手帳（明治37年） 1
	島崎藤村書簡（〃） 2	〃（田山瑞穂宛） 2	日記（大正２年） 1
	柳田國男書簡（〃） 2	〃（田山富弥宛） 1	〃（大正４年） 1
	幸田露伴書簡（〃） 2	原稿　和歌集 5	〃（大正５年） 1
	前田ひさの書簡（〃） 2	〃「東北地方紀行文」ほか 13	〃（大正６年） 1
	江見水蔭書簡（〃） 1	著書『ふるさと』 1	武井山樵著『山樵和歌集』 1
	田中純書簡（〃） 1	〃『生』 1	岡谷繁実著『館林叢談』 1
	近松秋江書簡（〃） 1	〃『妻』 1	地図 1
	山崎直方書簡（〃） 1	〃『縁』 1	写真　田山花袋 1
	吉江孤雁書簡（〃） 1		
6年度	松波治郎書簡（花袋宛） 6	花袋書簡（田山実弥登宛） 11	書（和歌短冊） 1
	白石実三書簡（〃） 5	〃（田山瑞穂宛） 2	岡田美知代原稿
	幸田露伴書簡（〃） 4	〃（田山富弥宛） 1	「狐の仇討ち」 1
	田山富弥書簡（〃） 3	〃（岡田美知代宛） 1	地図 1
	田山実弥登書簡（〃） 2	松村琴翁書簡（田山先蔵宛） 1	洋書 2
	田山先蔵書簡（〃） 2	原稿　和歌集 11	花袋婚姻届（写） 3
	若山牧水書簡（〃） 1	〃「東北地方紀行文」 4	花袋卒業証書 1
	花袋書簡（田山先蔵宛） 16	著書『第二軍従征日記』 3	花袋葬儀弔問者名簿 1

入館者数

◆入館者状況

年度	開館日数	入館者数(小・中学生)	団		個人		
			施設見学	学校見学	文学散歩	その他	合計
4	351日	14,219名(1,255名)	672名	602名	1,155名	1,077名	3,506名
5	352	13,282名(1,010名)	695	593	718	1,051	3,057
6	353	15,166名(1,527名)	372	682	1,417	1,229	3,700

◆月別利用状況



◆特別展入館者数

※(　)内は内数

年度	展示名	期間	開催日数	入館者数(小・中学生)
3	第２回　新収蔵資料展	4. 4.18～ 6.28	72日	6,292名(476名)
	柳田國男と田山花袋	4.10.24～11.29	37	2,089　(277　)
4	第３回　新収蔵資料展	5. 4.10～ 5.30	51	4,499　(192　)
	富士見高原の花袋	5.10.14～11.28	46	1,809　(337　)
5	花袋の書	6. 4.16～ 6.12	58	5,763　(203　)
	徳田秋声と田山花袋	6.10.15～11.27	44	2,510　(506　)

事業費

◆歳入概要

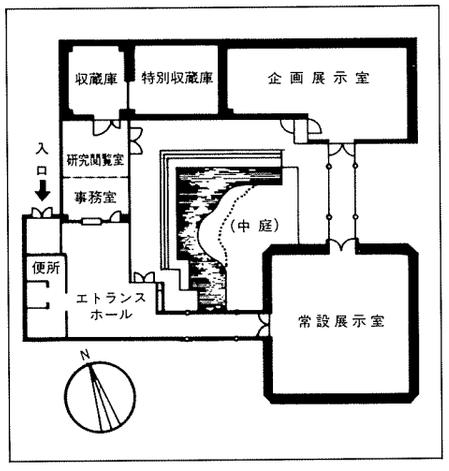
	平成４年度	平成５年度	平成６年度
入館料	1,806,530円	1,723,030円	1,784,230円
（内訳）			
個人 一般	1,484,600	1,463,000	1,472,400
小・中学生	35,900	31,350	28,250
団体 一般	284,800	224,600	281,000
小・中学生	1,230	4,080	2,580

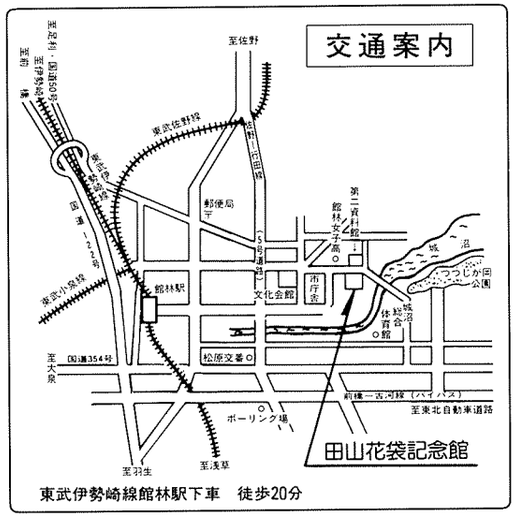
◆歳出概要

	平成４年度	平成５年度	平成６年度
館運営費事業費	5,925,091円 （内訳） ・管理委託費 2,072,360 ・光熱水費 2,483,432 ・その他 1,369,299	7,433,850円 （内訳） ・管理委託費 2,206,847 ・光熱水費 2,208,745 ・その他 3,018,258	6,051,468円 （内訳） ・管理委託費 2,300,429 ・光熱水費 2,154,506 ・その他 1,596,533
資料購入事業費	2,943,114円	1,034,970円	454,890円
保存管理事業費	2,368,718円 （内訳） ・資料修繕費 1,472,618 ・燻蒸 896,100	2,575,154円 （内訳） ・資料修繕費 1,195,624 ・燻蒸 879,980 ・複製資料制作費 499,550	1,751,424円 （内訳） ・資料修繕費 351,127 ・燻蒸 906,297 ・複製資料制作費 494,400
調査研究事業費	8,449,090円 （内訳） ・研究紀要印刷費 569,590 ・研究叢書印刷費 7,879,500	8,489,260円 （内訳） ・研究紀要印刷費 620,060 ・研究叢書印刷費 7,869,200	8,456,815円 （内訳） ・研究紀要印刷費 587,615 ・研究叢書印刷費 7,869,200
展示普及事業費	2,117,380円 （内訳） ・新収蔵資料展 234,684 ・柳田國男展 1,882,696	1,603,686円 （内訳） ・新収蔵資料展 89,425 ・富士見高原展 1,514,261	2,115,431円 （内訳） ・花袋の書 122,790 ・徳田秋声展 1,992,641
合計	21,803,393円	21,136,920円	18,830,028円

施設案内

位置　館林市城町１番３号
構造　鉄筋コンクリート造 平家建
規模　敷地面積 1335㎡
　　建築面積 553㎡
　　延床面積 488㎡
施設内容　常設展示室 144㎡
　　企画展示室 108㎡
　　収蔵庫 30㎡
　　特別収蔵庫 48㎡
　　研究閲覧室 22.88㎡
　　事務室 18.72㎡
　　ホール・便所他 116.4㎡
総事業費　約230,000千円
開館　昭和62年４月18日





東武伊勢崎線館林駅下車　徒歩20分